

実験的な試み
EXPERIMENTAL- 建築・都市・環境を超えて

千葉工業大学建築都市環境学科では、2013 年より始まったレクチャーシリーズを今年度も開催いたします。
今年のテーマは、「Experimental- **Architecture** / **Urbanism** / **Environment**」。
新しい試み、先鋭的な活動をしている様々な領域の講師をお招きし、今後の建築のあり方、都市のあり方、
そして環境のあり方を検証します。

第5回:2015 年 1 1 月 1 3 日 (金)
18:30~20:30 (開場:18:00)



山崎 亮
コミュニティ・デザイナー
東北芸術工科大学 教授

studio-L 代表。東北芸術工科大学教授（コミュニティデザイン学科長）。
慶応義塾大学特別招聘教授。1973 年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院
および東京大学大学院修了。博士（工学）。建築・ランドスケープ設
計事務所を経て、2005 年に studio-L を設立。地域の課題を地域に住む
人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりの
ワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマ
ネジメントなどに関するプロジェクトが多い。「海士町総合振興計画」
「studio-L 伊賀事務所」「しまのわ 2014」でグッドデザイン賞、「親子健
康手帳」でキッズデザイン賞などを受賞。著書に『コミュニティデザイ
ン（学芸出版社:不動産協会賞受賞）』『コミュニティデザインの時代（中
公新書）』『ソーシャルデザイン・アトラス（鹿島出版会）』『まちの幸福
論（NHK 出版）』などがある。



広瀬 郁
プロジェクトデザイナー
トーン&マター代表

1973 年東京生まれ。東京理科大学卒業、横浜国立大学大学院
修了（専攻:建築デザイン・建築史）。コンサルティング・ファ
ームを経て、2001 年に（株）都市デザインシステム入社。Hotel
CLASKA、diage 等で、コンセプトメイキングから事業企画・
プロジェクト推進まで、総合的なプロデュースを担う。2007
年 4 月には、新規部門として Tone&Matter 都市総合研究所を
社内に立ち上げ、領域を拡張した協働と仕組みの研究と実践を
目指す。2008 年、株式会社トーンアンドマターとして独立。
現在、東京・札幌・上海を中心に国内外でプロジェクトが進行中。



ゲストパネリスト
宮本 泰介
習志野市長



モデレーター
千葉工業大学
助教 **田島 則行**

会 場： 千葉工業大学 津田沼キャンパス 講演会会場：4号館4階 435 教室
千葉県習志野市津田沼 2-17-1 JR 総武線／津田沼駅、南口駅前（駐車場はございません。）
対 象： 大学生、大学院生、一般の方、建築に興味のある方
参加費： 入場無料（定員 280 名。予約制ではありません。当日、先着順でのご入場となり、満席の場合は入場をお断り
する場合があります。）
主 催： 千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科
協 賛： 千葉工業大学 PPA
問合せ： 千葉工業大学 田島研究室（E-mail: info@tajima-lab.jp）



街づくりと建築
広瀬 郁・山崎 亮
コミュニティと官民連携による街づくり
公共施設の再生を巡る可能性